

# ギャンブル等依存症の理解と相談対応について



大阪府こころの健康総合センター  
相談支援・依存症対策課

清原 大樹

## 目次

### 依存症の理解

- ・ 依存症ってどんな病気？
- ・ なぜやめられなくなるのか？
- ・ 依存症になりやすい人の背景
- ・ 依存症からの回復
- ・ 金銭トラブルへのアプローチ



## どう思いますか？

- ( ) 意志が弱いからやめられない
- ( ) やめられないのは反省していないからだ
- ( ) 依存症になったら一生治らない
- ( ) 依存症の人は突き放すのが本人のためである
- ( ) 依存症は強く指導して厳しい態度で接するべきである
- ( ) 依存性のあるものは全て法律で使用を禁止されている
- ( ) 依存症かどうかは見た目でわかる
- ( ) 依存症の人は暴力的で危険と思う

Aさんは、幼少期に父のギャンブルによる借金が理由で両親が離婚しました。父はAさんを連れてパチンコや競輪に行くこともありました。離婚後は母が引き取り、母は働きながらの子育てで、なかなかAさんの時間はとれなかったですが、Aさんはスポーツが得意で、スポーツ推薦で高校・大学まで進学しました。

大学生になって単身生活を開始し、友人とパチンコに行くようになりました。初めてパチンコに行った時には1万円が5万円になり、大勝ちしたことがあります。パチンコにはバイト代をつぎ込んでいましたが、借金はありませんでした。

大学までスポーツ推薦で進学しましたが、プロにはなれず、先輩の伝手で営業職に就職しました。仕事は多忙で、同期も複数名転職しました。そんな中、同僚から競輪を勧められ、時間がない中でもできるネット投票を始めました。最初は通勤途中だけでしたが、次第に仕事の隙間を見つけては携帯を触るようになり、ついには友人や消費者金融から借金をするようになりました。母にも“生活費”と称してお金を無心するようになり、実家に督促状が届いたことでAさんに借金があることが母に発覚しました。

※ケースは架空のものです。

## 依存症ってどんな病気？

### 本質は“コントロール障害”

適切な程度、頻度、状況で対象となるモノ・コトをすることが

非常に難しくなり

結果として健康的、社会的に問題が起きている状態

(例：何回かに1回ブレーキが効かない故障があるクルマ)



➡ やめられても、やめ続けるのは難しい

## 依存症ってどんな病気？

### “乱用”と“依存”と“中毒”ってちがうの？

乱用：社会的ルールから逸脱した目的や方法で使用するこ

急性中毒：急性アルコール中毒、覚醒剤急性中毒、身体症状

依存：コントロール障害（乱用の繰り返しの結果）

慢性中毒：依存による乱用の繰り返しの結果、心身にダメージを負った状態

## 依存症ってどんな病気？

### 依存行動の条件

- ①快感をもたらす・苦痛を軽減する効果
- ②その効果は極めて即効的
- ③簡単に手に入る
- ④しかし、その効果は持続しない

7

## 依存症ってどんな病気？

### 物質への依存

アルコール

### 薬物



### 行為・プロセスへの依存

ギャンブル

ゲーム



8

## ギャンブル等依存症

ギャンブル等にのめりこんで、借金などが深刻な状況であるにもかかわらずコントロールできなくなる。

※医学的には「ギャンブル行動症」といいます

結果が偶然に左右されるものに財物を賭ける行為

パチンコ、パチスロ、競馬、競輪、オートレース、宝くじ、ナンバースインターネット賭博、スポーツ賭博、賭け麻雀・賭け将棋、カード（花札・ハカラ等）賭博、合法または非合法のカジノ、証券の信用取引（FX）、先物取引市場への投資など



9

## ギャンブル市場

※2022年  
(宝くじは2021年)

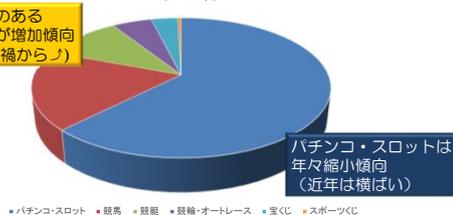


10

## ギャンブル市場

パチンコ・スロットを含めた公営ギャンブルの売上高  
(2022年)

ネット投票のあるギャンブルが増加傾向  
(特にコロナ禍から)



パチンコ・スロットは年々縮小傾向  
(近年は横ばい)

●パチンコ・スロット ●競馬 ●競輪 ●競輪・オートレース ●宝くじ ●スポーツくじ

11

## 健全なギャンブルの範囲

### 問題を起こさないギャンブル

金額的には総（世帯）収入の1%まで

例えば

年収が600万円とすると・・・  
年間6万円＝月5千円まで

逆に言うと

月1万円→年収1200万円！！  
月10万円→年収1億2000万円！！



12

### ギャンブル行動症 Gambling Disorder DSM-5-TR

A. 臨床的に意味のある機能障害または苦痛を引き起こすに至る持続的かつ反復性的問題賭博行為で、過去12か月間に以下のうち4つ（以上）を示す

- (1) 興奮を得るために賭け金を増やしたい
- (2) 賭博の中断や中止すると落ち着かない、いらいらする
- (3) 賭博を制限、減らす、中止する努力が繰り返し失敗
- (4) しばしば賭博に心を奪われている
- (5) 苦痛な気分有的时候に、賭博をすることが多い
- (6) 賭博で失った金を別の日にまた賭博で取り返そうとする
- (7) 賭博へののめりこみを隠すために嘘をつく
- (8) 賭博のために重要な人間関係、仕事、教育の機会を危険にさらす、失う
- (9) 賭博によって引き起こされた絶望的な経済状況を免れるために、借金を頼む

【軽症】 4～5個 【中等症】 6～7個 【重症】 8～9個

### ギャンブル等依存症による問題

- ◇健康の問題
  - ・睡眠や食事がとれなくなる
  - ・長期にわたるギャンブル優先の生活による栄養不足、運動不足など
  - ・うつや不安など、こころの病気の合併
- ◇生活の問題
  - ・生活リズムの乱れ、昼夜逆転
  - ・学校、仕事を休みがちになる
  - ・退学、失業
- ◇家庭の問題
  - ・家庭内での暴言や暴力
  - ・家族関係の悪化、崩壊
  - ・家族の健康状態の悪化
- ◇お金の問題
  - ・借金
  - ・過度な課金
  - ・窃盗、横領
- ◇対人関係の悪化
  - ・時間やお金を費やす
  - ・人間関係が希薄になる
  - ・友人、知人が離れて孤立する

### 併存精神障害

- ・気分障害
- ・不安障害
- ・統合失調症
- ・摂食障害
- ・PTSD
- ・ADHD
- ・強迫性障害
- ・認知症 など

### 自殺のリスク

対象	自殺念慮		自殺企図	
	1年以内経験率	生涯経験率	1年以内経験率	生涯経験率
※1 全国民からランダム抽出	4.0%	19.1%	-	-
※2 健常対照群	2.7%	14.5%	0%	1.8%
病的ギャンブル群	26.7%	62.1%	12.1%	40.5%
※3 アルコール使用障害群	-	55.1%	-	30.6%
薬物使用障害群	-	83.3%	-	55.7%
※4 大うつ病性エピソード患者	19.4%	-	8.3%	-

第2回依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会資料（平成24年12月21日）

※1 内閣府：自殺対策に関する意識調査、平成20年2月実施報告書  
 ※2 田中克徳「いわゆるギャンブル依存症の実態と地域ケアの促進」平成20年度厚生労働科学研究費補助金分科研究報告書  
 ※3 松本、小林他：物質使用障害患者における自殺念慮と自殺企図の経緯、精神医学51,2009  
 ※4 川上惠人：わが国における自殺の現状と課題、保健医療科学52,2003

### 目次

#### 依存症の理解

- ・依存症ってどんな病気？
- ・なぜやめられなくなるのか？
- ・依存症になりやすい人の背景
- ・依存症からの回復
- ・金銭トラブルへのアプローチ



「意志が弱いから」依存症になるというのは誤解です。

依存症になるのは、アルコールや薬物、ギャンブルやゲームを繰り返すことで、脳やこころ、体の機能が変わってしまうからです



参考：依存症対策全国センターHP

## なぜやめられなくなるのか

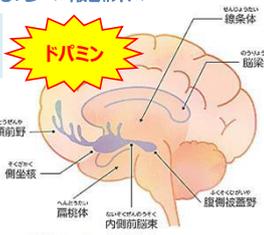
### 脳の仕組みが変わってしまう《報酬系》

報酬系  
快感をもたらすことで、生命の維持や学習を可能にする回路

衝動を制御する脳の部位が働きにくくなる

繰り返すうちに、次第に同じ刺激では快感が得られなくなり、量や頻度がどんどん増えていく（耐性）

自分ではコントロールできなくなってしまう



根本原因「世界一やさしい依存症入門」  
全国依存症対策センターHP 19

## なぜやめられなくなるのか

### 同じ量では満足できなくなる 《耐性》

習慣的にアルコールや薬物を摂取し続けると、だんだん同じ量では、同じ効果が得られなくなる

《耐性》の獲得

量や頻度が  
どんどん増えていく

よりしつこく、より過激になっていく



20

## なぜやめられなくなるのか

### きれるとしんどくなる《離脱症状》

- |                                 |                                    |
|---------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 頭痛     | <input type="checkbox"/> 発汗        |
| <input type="checkbox"/> 吐き気、嘔吐 | <input type="checkbox"/> 寒気        |
| <input type="checkbox"/> イライラ   | <input type="checkbox"/> 血圧・心拍数の上昇 |
| <input type="checkbox"/> 不安     | <input type="checkbox"/> 体の痛み      |
| <input type="checkbox"/> 意欲の低下  | <input type="checkbox"/> 手または体のふるえ |
| <input type="checkbox"/> 不眠     | <input type="checkbox"/> けいれん      |
| <input type="checkbox"/> 発熱     | <input type="checkbox"/> 幻覚・幻聴     |

※摂取した物質によって異なる ※離脱症状の一例 ※命に関わる場合もある

離脱症状の緩和、あるいは回避のため、  
依存性物質・行為をやめられない

参考：依存症対策全国センターHP 21

## 目次

### 依存症の理解

- ・ 依存症ってどんな病気？
- ・ なぜやめられなくなるのか？
- ・ 依存症になりやすい人の背景
- ・ 依存症からの回復
- ・ 金銭トラブルへのアプローチ



22

## 依存症になりやすい人の背景

### 依存者の気持ち

好きでやってるんじゃないの？  
楽しいからやってるんじゃないの？

「初めは役に立った。でも、途中からしんどかった…」  
「なんで続けていたのか、自分でわからない…」

だらしない性格だからじゃないの？

だらしないのに、一つのことを続ける…って変？  
(ときに一生懸命にもみえる)

快楽主義、性格（根性）だけでは  
なかなか説明がつかない

23

## 依存症になりやすい人の背景

### 自己治療仮説

依存の本質は“心理的苦痛の緩和”にある

Khantzian (2008)



### 信頼障害仮説

人を信じられず、アルコールや薬物といった「物質」や、ギャンブルやゲームといった「単独行動」しか信じられない

小林裕児 (2012)

「それがないと生きられないから“やむを得ず”使う、その手段しか知らない…」

“〇〇せずにはいられない”  
辛い状況があるのでは？



24

### 依存症になりやすい人の背景

キーワードは“生きづらさ”

成績の不振 いじめ 対人トラブル  
 経済的困窮 身体疾患 ト라우マ  
 自己肯定感が低い アイデンティティの欠如

自分ではどうにもならない環境での生活  
 言葉では表現できない強烈な体験  
 理解してもらえないはずがないという諦め

生きづらさ  
 (抱えているものは多いが見えにくい)

水面下に隠れた氷塊(生きづらさ)があるのでは?という視点が必要

長徳二医師の資料より、一部改変。 25

### 依存症になりやすい人の背景

ギャンブルに依存してしまう理由

- 生きづらさを抱えている
- 周囲から孤立している
- 助けを求める力が乏しい

と言われていました。

自分ひとりでは何とかしないと…

「人を信じられない病 信頼障害としてのアディクション 神奈川県立精神医療センター 小林桜児 著 26

### 本人の気持ち

キーワードは“両価性”

依存症者は「デメリット」「やめないと…」と自覚していることも膠着状態にあるときは、この“両価性”が背景にあることが多い

変わりたい	変わらない
迷惑がかかる	もうどうでもいい
メリット	デメリット
やめたい	やりたい

27

### 本人の気持ち

“両価性”は正常な反応

「勉強せんと…でも嫌やなあ…このテレビが終わったらしようかな」  
 「ダイエットしたい…けど、このお菓子おいしそう…」

他者から一方の意見を聞くと反対に流されやすい

「勉強しなさい！」 → 「今しようと思ってたのに！」  
 「また太るで！」 → 「もう食べてやる！」

28

### 本人の気持ち

“両価性”は正常な反応

「勉強せんと…でも嫌やなあ…このテレビが終わったらしようかな」  
 「ダイエットしたい…けど、このお菓子おいしそう…」

他者から一方の意見を聞くと反対に流されやすい

「勉強しなさい！」 → 「今しようと思ってたのに！」  
 「また太るで！」 → 「もう食べてやる！」

29

### 本人の気持ち

行動変容ステージモデル

無関心期	関心期	準備期	実行期	維持期
問題意識がない (ようにみえる)	変えるつもりはない (ようにみえる)	自分なりに始める 失敗したことがある 行動を継続する 自信がない	意識して行動を変えている ある程度は 継続できている	比較的慣れてくる 生活の一部に なっている

➡ 本当の意味での回復は“本人の気づき”があって初めて進む

Aさんは、幼少期に父のギャンブルによる借金で理由で両親が離婚しました。父はAさんを連れてパチンコや競輪に行くこともありましたが、離婚後は母が引き取り、母は働きながらの子育てで、なかなかAさんの時間はとれなかったですが、Aさんはスポーツが得意で、スポーツ推薦で高校・大学まで進学しました。  
※ケースは架空のものです。

#### 親のギャンブルによる借金・ギャンブルに連れて行かれる

- ・本人のギャンブルに対するハードルが低くなりやすい
- ・発達特性上ギャンブルにはまりやすいのかもしれない

#### 過去の過酷な体験

- ・本人の幼少期の辛さ、寂しさが原因となることもある

#### 特定のことが得意（その他のことは苦手）

- ・一芸に秀でていたり、のめり込みやすい性質がある
- ・他が苦手だからこそ、のめり込みやすいのかもしれない

31

大学生になって単身生活を開始し、友人とパチンコに行くようになりました。初めてパチンコに行った時には1万円が5万円になり、大勝ちしたことがあります。パチンコにはバイト代をつぎ込んでいましたが、借金はありませんでした。

大学までスポーツ推薦で進学しましたが、プロにはなれず、先輩の伝手で営業職に就職しました。  
※ケースは架空のものです。

#### 単身生活（単身社任なども）

- ・親や配偶者などの管理下から物理的に離れる
- ・環境の変化によるストレスが引き金になることもある

#### きっかけがある

- ・友人や上司の誘い、時には親が勧めることもある

#### ビギナーズラックの経験がある

- ・想定外の幸運はよりドバミンが出やすい
- ・工夫/上達すればより勝てるのでは？と考えやすい

#### 挫折や没頭できるものの消失

- ・その隙間を埋めるものがギャンブルになることも多い

32

仕事は多忙で、同期も複数名転職しました。そんな中、同僚から競輪を勧められ、時間がない中でもできるネット投票を始めました。最初は通勤途中だけでしたが、次第に仕事の隙間を見つけては携帯を触るようになり、ついには友人や消費者金融から借金をするようになりました。母にも“生活費”と称してお金を無心するようになり、実家に督促状が届いたことでAさんに借金があることが母に発覚しました。  
※ケースは架空のものです。

#### ストレス過多な環境

- ・ギャンブルをしなければやってられないような状態のこともある
- ・無自覚なことも多い 多数の同僚の転職で発覚することもある
- ・現在の業務や作業が本人の能力的に厳しいこともある

#### ネット投票（いつでも・どこでも手軽にできてしまう）

- ・現金を扱わないので、実感が湧きにくい
- ・競輪などは朝から晩まで毎日のようにレースがある

#### 借金の発生、周囲に嘘をつかざるを得なくなる

- ・督促状、貯金額の減少などにより周囲に発覚する
- ・本人からの告白は、多額の借金により首が回らなくなった場合のみ
- ・告白なく、突然の失踪などが起こることもある

33

## 目次

### 依存症の理解

- ・依存症ってどんな病気？
- ・なぜやめられなくなるのか？
- ・依存症になりやすい人の背景
- ・依存症からの回復
- ・金銭トラブルへのアプローチ



34

## 依存症からの回復

### 治療は“つながり”の回復

単に「依存対象をやめ続けること」ではない

失敗を繰り返しつつも、回復、成長を目指すこと  
つまり

「依存をやめることをベースに、身体的・精神的健康を取り戻し、  
家族や仲間との信頼関係を築きながら、人間的な成長・成熟を目指す」

➡ 人や社会とつながり、  
ギャンブルから徐々に離れていく

35

## 「底つき」から「ハームリダクション」へ

従来の依存症支援の現場で・・・



「底つき体験」を待っているだけでは、治療にたどり着く前や、治療の中断などにより支援からこぼれ落ちてしまっている間に、命を落としたり、重篤な後遺症が生じたりすることもめずらしくなかった。

## ハームリダクションとは harm reduction

「違法であるかどうかに関わらず、精神作用性のあるドラッグについて、必ずしもその使用量は減ることがなくとも、その使用による健康・社会・経済上の悪影響を減少させることを主たる目的とする政策、プログラム、そして実践である」

(Harm Reduction International)

→ やめられていなくても  
つながり続けることが大事

「ハームリダクションとは何か 薬物問題に対する、あるひとつの社会的選択」中外医学社

37

## 関わりのコツ 相談を受けるときのポイント

もし本人が相談に来てくれたら・・・

**本人が相談しやすい環境・関係作りが大切！**

例え初回相談のみで関係が途切れてしまったとしても  
また何か問題に直面した時に再度繋がれるようにする

これは家族相談の場面でも必要なことである

38

## 関わりのコツ 相談を受けるときのポイント

### ねこきょうひまない

ね	ねぎらう	来てくれたこと、話をしてくれたことをねぎらう
こ	肯定する	相手の気持ちや考えを認める
きょう	共感する	相手の立場だったらどう思うか想像し、それを相手に伝える

39

## 関わりのコツ 相談を受けるときのポイント

ひ	秘密は守る	安心して相談してもらうために秘密は守ると約束する
ま	まずは聴く	相談者の話をじっくりと聴く
な	長くかかわる	問題を整理しながら長くかかわる
い	一緒に考える	相談者は何に悩んでいるのか、わからないまま相談していることもあるので一緒に考える



40

## 関わりのコツ 相談を受けるときのポイント

### メンタルヘルス・ファーストエイド (MHFA) のアクションプラン

一般市民を対象。メンタルヘルスの問題への初期対応。メンタルヘルスの問題を抱える身近な人を適切に評価し、情報提供を行い、専門家につなげる。

- り** 声をかけ、リスクを評価し、支援を始める
- は** 批判せずにはなしを聞く
- あ** あんしんにつながる情報提供
- さ** 専門家のサポートを勧める
- る** セルフヘルプやその他のサポートを勧める

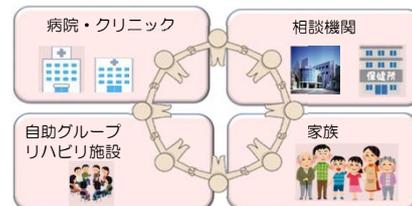


「メンタルヘルス・ファーストエイド こころの応急処置マニュアルとその活用」朝元社

41

## 依存症からの回復

多種多様なサポートを受けよう！



→ 複数のサポートを受けることが回復に繋がると研究結果も出ています

42

## 治療

- ・ **認知行動療法をベースとした集団回復プログラム**  
ギャンブルの問題を抱えている仲間と一緒に、具体的な対処方法を学び、ギャンブルに頼らない生活を取り戻すことを目指す
- ・ **精神療法**  
生活上の困難やストレス、対処方法などについて話し合う
- ・ **薬物療法**  
併存する精神症状に対応した治療



43

## 自助グループ・回復施設

- ・ **自助グループ**  
同じ問題や悩みを抱えた人達が、仲間と体験を共有したり、分かち合ったり中で回復を目指す集まり
- ・ **回復施設**  
依存症に関する相談を受けたり、日中活動や居場所の提供、ミーティング等を行ったりするリハビリ施設



44

## 当センターでの本人集団回復プログラム



### O-GAT

仲間とともに、具体的な対処方法を学び、ギャンブルに頼らない生活を取り戻す

回	テーマ
第1回	ギャンブルについての整理
第2回	引き金とその対処
第3回	再発を防ぐために
第4回	私の道しるべ
第5回	回復のために
第6回	回復の道のり

45

## O-GAT



### 引き金の同定

ギャンブルしたい気持ちを引き起こすものを整理する

できるだけ詳細に挙げる  
(ex. 手持ちが〜円以上でしたくなる)

引き金を引いた後に耐えるのではなく、引き金を避ける生活を心がける

強くなるより、賢くならう！

46

## O-GAT



**再関・再発を食い止める**  
ギャンブルの再関・依存症の再発に至るプロセスを説明し、どの段階でも工夫・対処ができることを伝える

47

## 精神科受診の適応

### 依存症＝精神科受診、という訳ではない

◎精神症状があってはじめて精神科受診の必要性がある  
ただし、本人の精神科受診が『つながり』の一つになるのであれば大いに意義はある



48

## 精神科を受診したら・・・？

- ▶ 見立て（診断）
  - ◇ ニーズの把握
  - ◇ もともとどんな人？ これまでどんな人生？
  - ◇ 今の状態の評価（精神医学的症状、環境…）
- ▶ 傾聴、共感、共有（ねぎらう、ほめる…）
- ▶ 説明（疾病教育、心理教育）
- ▶ （必要があれば）症状に見合った薬
- ▶ （必要があれば）社会資源などの情報提供
- ▶ 方針を共有する
- ▶ 場合によっては長いお付き合い



49

## 入院適応

### 入院治療が望ましい場合

- ★ 抑うつ状態が著明で生活が送れない場合
- ★ 自殺や自傷、他害の恐れがある場合
- ★ 併存精神障害により入院治療が必要な場合
- ★ 身体面での合併症があり、入院治療が必要な場合

### 入院治療のよい点

- ★ 薬物の調整がしやすい
- ★ ゆっくりと休める
- ★ 治療の中断を防ぐことができる

Osaka Prefectural Mental Health Center

50

## 入院適応

これって可能??

本人のギャンブルが止まらないから入院させて!!

これ以上借金されたら困るから入院させて!!

家から追い出すからその前に入院させて!!

家族や支援者 治るまで退院させないで!!

▶ 精神科に入院するってどういうこと??

51

## 精神保健福祉法に基づく入院について

精神障がい者の  
人権に配慮した  
適切な医療と保護

■ 入院形態  
基本の入院形態  
・ 任意入院

その他の入院形態  
・ 措置入院  
・ 緊急措置入院  
・ 医療保護入院  
・ 応急入院

<精神保健福祉法>

- 第20・21条（任意入院）
- 第22条（一般人の申請）
- 第23条（警察官の通報）
- 第27条（申請等に基づき行われる指定医の診察等）
- 第29条（都道府県知事による入院措置）
- 第33条（医療保護入院）
- 第34条（医療保護入院のための移送）

52

## 精神科病院における入院形態

任意入院 (法第20条)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入院を必要とする精神障害者で本人の同意があるもの</li> <li>・ 指定医の診察は不要</li> </ul> <p>入院患者本人の同意に基づく入院</p>	非自発的入院
措置入院 (法第29条)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入院させなければ自傷他害のおそれのある精神障害者</li> <li>・ 2人以上の指定医の診察の結果が一致した場合に入院させることができる</li> </ul> <p>都道府県知事・政令指定都市長の命令に基づく入院</p>	
医療保護入院 (法第33条)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入院を必要とする精神障害者で、自傷他害のおそれはないが、任意入院を行う状態にない者</li> <li>・ 指定医の診察及び家族等のうちいずれかの者の同意が必要</li> </ul> <p>家族等の同意に基づく入院</p>	
応急入院 (法第33条の6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入院を必要とする精神障害者で、任意入院を行う状態になく、急速を要し、家族等の同意が得られない者</li> <li>・ 精神保健指定医の診察が必要。入院期間は72時間以内</li> </ul>	

53

## ギャンブル依存症における入院適応

基本的には  
本人の同意に基づく自発的入院（任意入院）が望ましい  
※自傷他害のおそれや、入院治療を要する精神障害はあるが本人の同意を得られない場合を除く

任意入院時の退院の目安

- ・ 心理教育が終了したとき
- ・ 環境調整が終了したとき
- ・ 本人が決めた入院期間を終えたとき etc

★本人が退院を希望したとき

ギャンブル依存症が入院治療のみで  
良くなることはありません!!



54



## 目次

**依存症の理解**

- 依存症ってどんな病気？
- なぜやめられなくなるのか？
- 依存症になりやすい人の背景
- 依存症からの回復
- 金銭トラブルへのアプローチ



## 金銭トラブルへのアプローチ

**大前提として**

**本人の借金を家族が返す必要は全くない！！**  
(連帯保証人になっている場合を除く)

本人の借金を本人に代わって払う・整理すること(肩代わり)は結果として**本人の依存症治療の機会・動機を奪う**ことになる

本人の借金を肩代わりしない(それが友人からの借金であっても)借金の整理を家族のみや家族主導で行わない

あくまで**本人主導**で借金の整理を行うことを勧める(家族はそれをサポートするという立場)

## 金銭トラブルへのアプローチ

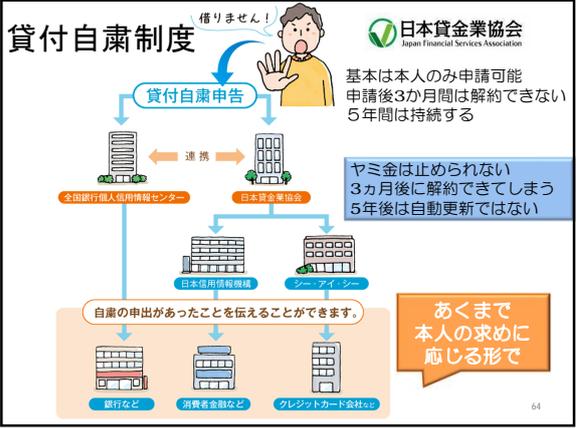
**借金問題の解決法** 本人への支援の初動になることが大半

**借金問題は必ず解決する！！**

“ヤミ金”は返済する必要がない  
警察または弁護士・司法書士に相談をする

○具体的な解決方法 **債務整理も本人主導で！**

- 任意整理：弁護士・司法書士が債権者と返済方法を決め直す(元金は変わらないが、利息は止まる)
- 個人再生：裁判所に申立をして、借金を大きく減額してもらう(住宅ローンを除外して、他の借金のみを減額できる)
- 自己破産：裁判所に申立をして、借金の返済額を0にしてもらう(免責不許可事由があり、必ずできるわけではない)



## 金銭トラブルへのアプローチ

**効果的でない金銭管理**

本人が家族などによる金銭管理を望んでいない場合  
本人の気持ちは・・・

- 自分のお金を自由にできないなんて・・・
- 自分でも金銭管理ぐらいできる！！
- やっぱりまだまだギャンブルしたい！！

この状態での第三者による金銭管理はむしろ**逆効果！！**  
(本人と管理者の“いたちごっこ”が始まる)

**イネイプリング**

➡ **一旦本人に任せ、次の約束をする**  
Ex) 難しかったら相談してね、上手くいかなかったら一緒に相談に行こう

## 金銭トラブルへのアプローチ

**治療的な金銭管理**

理想としては

- ギャンブルを止めたくても止められない！！
- やっぱり依存症なのかもしれない
- また借金が増えてきた・・・
- 誰か金銭管理して！！



➡ **自発的な求めによる第三者の金銭管理が治療的かつ効果的！！**

## 金銭トラブルへのアプローチ

### 治療的な金銭管理の具体例

- ① すべての金銭管理を家族が行う  
※一部でも自己管理するとそこから再発
- ② 本人の収入は全て振り込み、通帳カード類は家族管理  
※身分証（免許証や保険証など）の預かりも視野に
- ③ 必要最小限の現金を毎日渡す
- ④ 毎日精算：レシートと残金  
※できるだけ淡々と（作業として）行うのがコツ
- ⑤ 大きな現金が必要なときは本人に任せない
- ⑥ 急な現金収入を予測する  
※交通費やボーナスなどが現金で支給される可能性を考慮する
- ⑦ 上記を徹底する

67

## 金銭トラブルへのアプローチ

### 治療的な金銭管理の最終目標

- 最終的には自身で自己管理できるようになること
- 家族による金銭管理はそれまでの過渡期である
- もちろん金銭管理のみで回復するものではない
- ・金銭管理の移行の仕方  
本人の治療がうまく進んでいることが大前提  
目安は1-3年で徐々に緩めていく 日数や金額を緩める  
ただし、精算は続ける

68

## 金銭トラブルへのアプローチ

### 公営ギャンブルのネット投票対策

家族申告によるネット投票を停止する制度



ポート：「家族申請による電話投票の利用停止について」  
（勝舟投票券の購入にのめり込んでしまう方のご家族の方への対応）

競馬：「家族申請によるネット投票の利用停止について」  
（ギャンブル障害への対応）

競輪：「競輪場・場外車券売場への入場規制」  
「インターネット投票の利用停止」

あくまで  
本人の求めに  
応じる形で

69

## 金銭トラブルへのアプローチ

### パチンコ・パチスロの対策

自己申告・家族申告プログラムで  
スマートPLAYスタイルを！

自己申告・家族申告プログラムは、  
パチンコ・パチスロのプレイ履歴を本人の求めに応じて  
ご家族へお知らせするサービスです。  
「スマートPLAYスタイル」をプレイする際の必須条件です。  
※自己申告・家族申告プログラムは、パチンコ・パチスロのプレイ履歴を本人の求めに応じて  
ご家族へお知らせするサービスです。



あくまで  
本人の求めに  
応じる形で

パチンコ・パチスロ産業 21世紀会 自己申告・家族申告プログラム <https://ikoshinkoku.jp/>

70

## 金銭トラブルへのアプローチ

### 家族が配慮してほしいこと（金銭面）

#### ◎肩代わりしない

どこからの借金であっても肩代わりしない  
本人の治療機会や動機を奪ってしまう



#### ◎家族自身の財産を守る

家族の金銭や貴重品は本人の手の届かないところへ  
家族の口座にアクセスできないようにする、金庫に入れる等の工夫も必要  
高額の商品を転売されてしまうこともある

#### ◎支援者で対応を統一する

別居の両親や祖母などが肩代わりしてしまうことも多い  
家族が事情を説明し、肩代わりをしないように伝える必要があることも  
理解が乏しいなど周囲の支援者にも相談支援を要する場合もある

71

## 金銭トラブルへのアプローチ

### 会社で配慮してほしいこと

#### ◎口座の調整

会社によっては給料の振り込み口座が固定のところも  
財産管理のためには一つの口座が望ましい

#### ◎現金に注意

交通費やボーナスなどが現金で渡される会社もある  
手元の現金はギャンブル等依存症の再発に容易に繋がる  
口座への振り込みにするなどの対策が必要



#### ◎横領の予防

会社や取引先のお金を取り扱う業務から遠ざける  
「会社のお金を一時的に借りて、勝って返せばいい」という思考になる  
横領が犯罪行為になることは、決して抑止力にはならない

72

最後に

AddictionからConnectionへ



～依存症は「孤立」の病～

「独りでなんとかしようとして」モノ・コトにのめり込み  
周囲にバレないようにウソをつくようになり  
家族、友人、職場の人 周囲から愛想を尽かされ  
完全に「孤立」してしまう…

人や社会との継続的な“つながり”を取り戻し、  
ギャンブルから徐々に離れていく

73

ご清聴ありがとうございました



74